

**・地域貢献バスモデル事業 新たに協定を締結しスタート**

昨年、事業がスタートし「鎌倉プライエムきしろ」が施設のある関谷から大船駅東口まで行く途中で玉縄すこやかセンターに寄っていただく送迎サービスを、



「稲村ガ崎きしろ」が七里ガ浜東にあるスーパーに買い物にきた高齢者を自宅まで送るサービスを実施していただいております。

この度、新たに「ふれあいの泉」と協定を締結し、昨年12月から大船にあるスーパーに買い物にきた高齢者を自宅まで送るサービスが始めていただきました。引き続き、地域の拡大や補助を含めた検討もしていただくよう求めました。

**●2020年オリンピック・パラリンピックに向けて
・海岸の公衆トイレの洋式化**

海岸の公衆トイレは由比ガ浜海岸と材木座海岸に2箇所ずつありますが、滑川河口付近のトイレ以外は男子トイレに洋式便器が設置されていません。誰もが安心して快適に楽しめる海岸に向けて、洋式化を求めたところ、オリンピック・パラリンピック前までに洋式化の改修を行いたいとのご答弁をいただきました。

**・腰越海水浴場 コインロッカー設置に向けて協議**

昨年6月の一般質問で腰越海水浴場に海の家が出店されない場合にコインロッカーの設置を検討できないか伺った際、設置は難しいとの回答でしたが、海水浴客の防犯上の観点から、コインロッカー設置が必要であると再検討を求めました。その結果、令和2年度の腰越海水浴場に海の家が出店されない場合には、コインロッカー設置を考えているとのことで神奈川県とコインロッカー設置について協議を行っていただけることになりました。

**クリーン&ガーデニング大作戦****毎月第3土曜日の7時30分～8時30分****腰越駅集合(雨天中止)**

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。

☆スケジュール☆

第82回:1月18日

第83回:2月15日

第84回:3月21日

第85回:4月18日

:

鎌倉市議会議員**ひなた慎吾**

活動レポート

1983年6月9日 生まれ (36歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。腰越在住。

〈現在〉観光厚生常任委員会委員長・議会広報委員会委員



12月定例会では4つの項目について一般質問を行いました。

- 海洋ごみの対策について
- 災害ごみの処理と復旧について
- 高齢者外出支援サービスの充実について
- 2020年オリンピック・パラリンピックに向けて



ワールドカップ江の島大会 2019 では8日間の期間に約1万5,000人の一般客(大会関係者を含めると約2万5,000人)が江の島ヨットハーバーを訪問しました。セーリング競技の会場は3,600人を収容することので、海水浴シーズンと重なり混雑への対応が必要です。公共交通機関や道路交通に関する情報の周知や輸送について、引き続き協議調整を求めました。また、セーリング競技の開催期間中は市にも問い合わせ窓口の設け、市民からの問い合わせに対応していただくことになりました。

住所: 鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先: 0467-32-5889

ホームページ: <http://www.hinata-kamakura.com/>ブログ: <https://hinata-shingo.amebaownd.com/>メール: hinata.shingo@gmail.com フェイスブック: 日向慎吾

ツイッター: @HinataShingo インスタグラム: hinata.shingo



討議資料

●海洋ごみの対策について

・海洋汚染は地球規模の課題

市としては国・県・市民等と連携して取り組む必要があると認識しており、海へ流出防止や漂着ごみの回収に取り組んでいるとのことです。費用の負担が大きいことから国の補助金を活用し、海洋環境の保全と美しく豊かな海の実現に向けて積極的に対策を進めていただくよう求めました。



・漁業者と連携して海洋ごみを11月から市が収集・処理

腰越漁業協同組合において、海洋ごみの自主的な回収及び処理を行い、昨年5月から9月までに合計710kgを回収していただいております。まちを清掃した時のごみと同様に、市で収集・処理を行い漁業者の負担をなくすよう求めてまいりましたが、昨年11月から市で収集・処理していただけることになりました。無理に回収をお願いするものではありませんが、海洋ごみを漁業者の負担で処理することにならないよう継続的に取り組んでいただくよう求めました。

・指定収集袋にバイオマスプラスチックの活用検討

国においても石油由来プラスチックの代替素材である再生可能資源への転換を図られています。環境にやさしいプラスチックへの取組を求めたところ、プラスチックの発生抑制を図りながら、家庭系可燃ごみの指定収集袋について、バイオマスプラスチック(※1)の活用を検討しているとのご答弁をいただきました。

(※1):再生可能な有機資源を原料にして作られるプラスチック。100%植物由来のもの、植物・石油系由来のもの混合したものがある。石油などの化石資源の節約や二酸化炭素の発生を削減できる



・市の後援事業 プラごみ削減に向けて基準見直しへ

市の後援は「鎌倉市共催等承認基準」に基づき審査を行い決定しています。プラごみゼロ宣言に取り組む鎌倉市として、できる限り使い捨てプラスチックを使わないようにすべきと求めたところ、現在協議を進めており、再利用可能な食器等を使用する旨を基準に規定することを検討し、段階的に100%を目指す経過措置を規定することを考えているとのご答弁をいただきました。



・子どもへの環境教育の大切さ

海に関する学びは海洋教育とも呼ばれており、海と人との共生を実現するために、海についての理解や関心を深める教育への注目が高まっています。現在は地域や児童生徒の実態に合わせ、総合的な学習の時間を中心に行っているとのことで、様々な実施をしていただいておりますが、海本来の美しさや素晴らしさから環境を考える大切さを学んでいけるようお願いをしました。



●災害ごみの処理と復旧について

・倒木等の処理 バックアップ体制をさらに広げる

昨年の台風の際、倒木等を市が収集する対応をしていただきましたが、長さ50センチに裁断することを各家庭にお願いをしており、大きさによっては各家庭で裁断することが難しく、業者に頼んでも対応しきれない状況となっていました。そのため、造園組合のバックアップ体制の構築や災害ボランティアの活用を求めたところ、関係機関と協議しながら、支援の手法を検討していくとのことでした。



・AI・SNSを活用した災害情報の収集と提供

災害情報について電話やメール等だけでなく、先端技術を活用することを求めてまいりましたが、昨年の台風19号の際に市民からの問い合わせ対応と災害情報収集にサービスの試験的な活用が行われました。「LINE」上で専用アカウントをともだち登録することで、入力した問い合わせ内容にAIが会話形式で応答することや、災害現場に関する情報を送信すると地図上に集約して表示され、市民の皆様が送った災害情報をリアルタイムで共有できるようになります。今後の利用拡大に向けて積極的に取り組んでいただくよう求めました。



●高齢者外出支援サービスの充実について

・運転免許証返納者への新たなサポート事業 実施に向けて検討中

昨年6月の一般質問で実施を求めましたが、現在、市内の路線バス回数券や高齢者向け割引乗車証等の購入費助成制度の仕組みの検討を進めているとのことで、実施に向けて取り組んでいただいております。

